

令和7年度 第1回三戸警察署協議会の概要	
1 開催日時	令和7年6月18日(水) 13:25 ～ 14:55
2 開催場所	三戸警察署 1階講堂
3 出席者	○ 協議会委員 4人 岩間 文子 会長 宮木 伯昌 委員 三浦 恵美子 委員 山崎 正子 委員 ○ 警察署 8人 署長、次長、刑事生活安全課長、地域課長、交通課長、警備課長、 警務会計課長代理(会計)、 事務局(警務会計課長代理(警務))
4 開催内容	(1) 会長選出、副会長指名 (2) 議事 ○ 特殊詐欺被害防止対策の推進について ○ 交通事故抑止対策の推進について (3) 意見・要望等 ○ 昨年5月ころ、城山や三戸学園の駐車場に熊が出て、対応や見守りをしていただいたが、今年の状況はどうか。 また、熊や猿の出没についてどのような対策があるか。 〔回答〕県内では、今年4月中の熊の出没件数が過去5年間の平均を大幅に上回り、過去最も早くツキノワグマ出没警報が発令されています。 当署管内でも、熊や猿の出没が相次いでおり、役場と情報共有しながら、出没付近の警戒、住民への注意喚起行っています。 また、交番・駐在所の広報紙や速報を配付して、熊を引き寄せる食べ物となる物を屋外に置かない工夫をしていただき、万が一熊に出会った場合は刺激しないように静かに立ち去るとともに、最寄りの役場や警察に通報するよう、呼び掛けを行っています。 ○ 山間には熊が出るものと思っているが、住宅地以外で熊を目撃した場合でも通報は必要か。 〔回答〕住宅地や学校周辺などは警察に通報してください。 山間などは、その時の判断をお願いします。 ○ 知人が赤い車で走行中に、鹿が飛び出してぶつかってきたということがあったが、車体の色が関係している可能性はあるか。 〔回答〕車体の色の統計は取っていませんが、車の音や光に驚いて反応してい

るとも言われています。

〔回答〕鹿の死骸は放置すると二次被害のおそれもあるため、その際は警察に通報してください。

- 自転車のヘルメット着用について、町民に広く行き渡っているか。
他の地域ではどうか。

〔回答〕昨年の自転車ヘルメット着用率調査結果によると、青森県は9.1%で、およそ11人に1人が着用している計算になります。

当署管内に限定した統計は取っておりませんが、青森県全体の着用率は上回っているように感じております。

当署では、今後も交通安全教室や各種イベント広報活動を通じ、外郭団体の方々と連携しながら、あらゆる機会を活用して、ヘルメット着用を呼び掛けてまいります。

- 今年も猛暑と予想されているが、事故現場など熱中症に注意しなければならない仕事も多いと思われる。

職員の健康のため、暑さ対策など工夫してもらいたい。

〔回答〕青森県警察は、昨年7月から、紫外線による健康被害の軽減や、直射日光や乱反射による事故防止のために、職務中のサングラス、ネッククーラー、ペットボトルホルダーの使用を認めており、屋外活動時の水分補給についても推奨しています。

また、本年6月から暑熱対策が義務化され、熱中症発生リスクの把握と、屋外で活動する警察職員の業務管理を行っています。

今後とも組織的な暑熱対策に取り組んでまいります。

- 三戸警察署所在地交番が毎月発行している『広報城山』について、前回の会議で読みやすい広報紙への改善を提案したが、その後発行された『広報城山』は、字が大きくなり、読みやすくなった。

予算の都合もあると思うが、カラーだと更に読みやすいと思う。

〔回答〕前回の会議で御意見をいただき、文字数を減らし、フォントを大きくするなどの工夫を凝らし、地域の皆様が見やすく、読みやすい広報紙の作成に配意しました。

引き続き、見やすく、読みやすく、分かりやすい広報紙の作成を実施してまいります。

〔回答〕カラー印刷は予算の都合上、すぐの対応は難しいですが、前回の提案を受けて、三戸警察署のホームページにカラーの広報紙を随時掲載しているので、併せてご活用いただければと思います。

- あかね団地にほぼ同じ場所で何回も自損事故が発生している上りカーブがあり、殆どがカーブを曲がりきれずに突っ込んでいます。

ガードレールに矢印表示など、対策はないものか。

〔回答〕ガードレールは、道路管理者である南部町が設置しているため、矢印表示の可否については南部町が判断することとなります。

この提案について南部町に情報提供するとともに、当署といたしましては、付近のパトロールや駐留警戒を実施して、事故抑止に努めて参りたいと考えております。

○ 特殊詐欺被害防止の広報を警察で頻繁に行っているが、それでも被害に遭ってしまうことに驚いている。

三戸署で受理した3,000万円被害の特殊詐欺について、どのような心理で次々と振り込んでしまったのか知りたい。

〔回答〕『あなたのことで周りに迷惑が掛っている』と、言葉巧みに騙されてしまったそうです。

また、日頃から特殊詐欺の発生を新聞などで理解しているつもりであったが、まさか自分が騙されているとは考えていなかったとのこと。

今後とも被害防止に向けた広報活動を推進してまいります。

○ 私のスマホにも「NTTドコモの使用料金が支払われていない」というショートメールが来たが、不審に思ったので被害を免れた。

実際に身近に不審な電話が掛ってきているので、老人会などに積極的に出向いて、特殊詐欺被害防止やの出張講話をしてもらいたい。

〔回答〕地域の寄り合いなど、あらゆる機会を通じて、積極的に広報活動を行ってまいりますので、ぜひ警察に講話依頼をいただければと思います。

(4) 会長総括

先日自宅に若い警察官が巡回連絡に来て、丁寧に防犯指導をしてくださいました。

また、オレンジカフェ（認知症カフェ）で、免許証返納のビデオを見たり、交通課員の講話を聞く機会があったが、大変わかりやすく、話も上手で感激しました。

このような署員の皆さんの日々の活動により、安全で安心な暮らしが守られているのだと、とても心強く感じています。

これから暑さの厳しい季節となりますが、体調管理に留意され、頑張ってください。